

## IV. 事業総括

### 1. 本事業目標における成果

「ア）日本農業や生産者の現状を知り、理解を深める人を70%にする」目標は89.5%の達成率で、また、「ウ）今までの食生活を見直し家庭内での継続的な食育活動を推進する人を50%とする」目標は89.5%の達成率で、ともに目標を大幅に超えた。一方で「イ）新参加者を86%にする」目標は4.8%下回り、「エ）国産農畜水産物購入者を20%アップする」目標も1.6%下回ったが、いずれも僅かであり全体としては目標を達成することができた。

### 2. 事業で得られた成果

① 継続的農作業体験プログラムの3プログラムを比較することにより、共通項が見えてきた。共通項としては、参加動機などから、「継続的農作業体験プログラム」を通じて、「子どもたちに本物に近い農作業体験をさせたい、親子・家族で体験を共有したい」との思いが大変強いことが分かった。また、結果から参加者は一番興味のありそうな「農作物の収穫」よりも「すいかの苗植え」「田んぼの整備・草取り」「豆腐作り」などその作物の生育過程や、作物を使っての加工などに関心が高いことが分かった。このことは、単なる観光的な作物の収穫体験ではなく、「日本農業や生産者の現状を知り、理解を深めるための農作業体験」をしたと思う人が少なからずいること、またその人たちの理解促進に本プログラムが有効であることを実感できたことが大変大きな成果といえる。

われわれが目指す「日本農業を守るために、活発な運動を進め、消費者の中にその輪を広げていきます。」「日本の食文化を受け継ぎ、日本型食生活の良さを生かして、次世代の健やかな成長を育みます。」（東都生協基本理念に基づく個別理念）に合致していることでもあり、今後もさらに内容を精査し充実させ続けていきたい。

② 家庭内での継続的な食育活動を推進するきっかけづくりとして、本プログラムが有効であることが分かった。親子家族単位での継続的な農作業体験は、子どもを育て、同時に子どもの成長を見ながら親も育つことにつながる。共通した体験がその後の家庭内での自主的継続的な食育活動を推進する可能性が高い。

③ 本プログラムが国産農畜水産物の購入へつながることはさらに明確になった。アップ率としては20%に達しなかったが、既に購入している人も含めれば、89.5%に人は意識的に購入していることが分かった。また、農作業体験の訪問先の商品（＝国産農畜産物）を今後利用（もっとを含め）したい人（Q7）は68.5%と購入意欲を高めていることが明確になった。

### 3. 今後に向けて

① 取り組みの報告や成果を、組織内および取り組みに協力をいただいた、農業団体、生産者に報告書やホームページで知らせ、共有化し今後の取り組みに生かしていくことが重要である。

② 参加者の高まった意識をさらに継続化させていくために、同様の企画を継続していくことや、今後さらに新しい参加者を増やす努力が必要である。

③ 家庭内での継続的な食育活動は、さらにそれを支援する取り組みを日常的な商品利用や、さまざまな参加企画、広報物などを通して行っていくことが大切である。

④ 「農作業体験を通じ水田および畑の果たす多面的価値について認識することができ、環境保全に対する農業、水田、畑の役割を知ってもらい、環境活動の輪を広げる。」を波及効果として掲げた取り組みおよび効果測定ともに不十分であった。今後必要な手立ても講じこの可能性も意識的に追求していく必要がある。

米コーサス(アンケート集約)

1	子ども(小2、小4中3、高2)に日本の原風景を見せて主役であるお米の育ちを体感してほしい。	18	稲作の度々過程も大変楽しくかつ興味深いところでは、特に生き物との触れ合いが楽しかった。
2	お米をいちから作りたかった。	17	毎日食べられているお米がどのようになっているのか体験したかった。
3	農家が農業(米)の楽しさを伝えてくれた。	16	初回から参加して、既に生活の一部になっている。
4	子どもと一緒に田んぼの体験をさせたため	15	「荒れたい田んぼを再生すること」に興味を持って
5	生産者が、「米を作っても、飯が食えない」と言う状況	14	農業に「きょうみ」があった。実家が近いので。
6	米作りや農業は楽しい	13	毎年参加して、楽しいから
7	自分が小学校3、4年の時、田植え、稲刈りをしてきた経験があったため	12	脱穀機が、おもしろかったと息子が言うの？
8	田んぼの整理でスコップを使ったときに、平に豆がでたので	11	耕作放棄地の再生に興味をもったので、参加した。
9	今までの伸びたので	10	農家に興味があり、農家のお手伝いをしたいと思っていました。
10	田んぼの体験で、初めてのもので	9	たい変だった
11	子どもと一緒に田んぼの体験をさせたため	8	日本人の生活の原点である農業について、農家の仕事、お米ややさしいこと、お米がどのようか一度体験して欲しい
12	生きている中で、泥だらけになっても、育つ稲に思いを込めて1つ1つ植えていくのが、深い。	7	安全な農作物の生産のためなら、いろいろな企画に参加したい。できれば私たちが手伝いをしたい。
13	気候が良くて楽しかった。草取りは正直、農薬を使えばよいのと思えた。田植えは個人的には好きだが、都合が合わない。田植えが一番楽しかった。	6	稲作の楽しさ、無農薬でもこれだけ収穫できることを知ってほしい。
14	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。	5	お米の価格が下がっており、農家が知り、以前よりもお米、野菜の食べる量が減った。
15	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。	4	お米の価格が下がっており、農家が知り、以前よりもお米、野菜の食べる量が減った。
16	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。	3	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。
17	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。	2	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。
18	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。	1	稲作の楽しさを伝えることが、子どもに伝わるようにしたい。

米コーサス(アンケート集約)

1	食料の産地を話 題にする。新聞の 関連ニュースを子 どもに紹介する。 原料表示を讀ん でから買うよう に話す。栄養や食 事バランスを説明 する。	2	残さずを 食べる	3	農薬の使 用の有無 また、土 作り等を 確認し産 地、添加 物を チェックし て手作り を心がけ ていく	4	野菜など 野暮つ現 場に出か けたり、絵 本などを 読んだりし ながら、食 べること と作ること とを分け て感謝し ながら、食 べることが できるよう になります。	5		6	国産の方 が安心で きると思 います。	7	毎日の生活の 中の一環な い、無理な ように、こ ろに、でも 意識する ようになります。 近所だけだ と意識する ようになります。 近所だけだ と意識する ようになります。	8	食の成り立 ちを子ども もたにどん どんどん 伝えた ら、子ども も将来、何 でもコン ビニエ ン タ ン に な る の が 好 ま し い の だ ら う	9	基本素材を 買って料理 するよう にする。手 前の物を食 べる。	10	田んぼの 学校と給 橋農産物 供給セン ターの開 係が分か りません でした。(オ レンジに不 参加のた め)	11	食の安全で健康な生 活を送りたい。自分 たちの食べものは自 分たちで賄うのが 当たり前。食を外国 頼みにして、もしま うか。	12	しつかり した食事 をいただく ことが、 生活の基 本と考 えて、で きるだけ きちんと した食料 で手 掛けた 料理が できたら と考えて います。	13	パンを感 し、米、日 本食を増 やした だけス ーパーに 行かない ようにし て、産直 品を購 入する ように しました。	14	「食べ物 で身体 を作る」 ことを 日々意識 して生 活する こと。	15	肉、農産 物を購 入する ときに 産地を 確認す る。	16	食育の対 象がいな い。	17	生協の野 菜は安心 して食べ られる ので、積 極的に食 べてい たいと 思いま す。	18	安心で 食料が 来ると 安心して 食事を したい と思 います。
家庭内食育活動		国産の農産物水産物の意識的購入																																	

すいかコーラス(アンケート集約)

参加の動機	自分も小さい頃から母と一緒に生協の企画に参加していたので、とても良い体験をさせてあげたいと思っただけです。	昨年、別の企画に参加したときは、畑に入るときの準備がなくて泣いてしまったので、今年からは自分で準備をして一生懸命に頑張りたいと思っただけです。	去年の梨の収穫のときに、お父さんと一緒に畑に行くと決まっていたので、とても楽しかったです。	西が作りた興味があったので、興味を持って参加しました。	家で食べる果物の時「すいか作り体験」を知りました。	子どもの食育のため	すいかの栽培は初めてだったので、苗から生育状態を知りたく、その状態を写真や動画で記録したいと思って応募しました。	生産者から家に届けていただくまで、いろいろとお話を聞きました。	苗の植え方(角度、間隔)に興味がありました。	産地、生産作業が大変興味がありました。	子どもにすいかがどのように見えるのか、実際に食べてみたいと思いました。
今回の企画に参加して一番印象的な事	お父さんと一緒に畑に入るときの準備がなくて泣いてしまったので、今年からは自分で準備をして一生懸命に頑張りたいと思っただけです。	お父さんと一緒に畑に行くと決まっていたので、とても楽しかったです。	西が作りた興味があったので、興味を持って参加しました。	すいか作り体験を知りました。	子どもの食育のため	すいかの栽培は初めてだったので、苗から生育状態を知りたく、その状態を写真や動画で記録したいと思って応募しました。	生産者から家に届けていただくまで、いろいろとお話を聞きました。	苗の植え方(角度、間隔)に興味がありました。	産地、生産作業が大変興味がありました。	子どもにすいかがどのように見えるのか、実際に食べてみたいと思いました。	
組合員さん・産地への伝言	このすいか、東京の産地の方から送られてきたので、組合員さんへの感謝の気持ちを伝えてほしいです！	自分たちが生協から購入している生協の産地の方への感謝の気持ちを伝えてほしいです！	自分たちが生協から購入している生協の産地の方への感謝の気持ちを伝えてほしいです！	すいか作り体験を知りました。	子どもの食育のため	すいかの栽培は初めてだったので、苗から生育状態を知りたく、その状態を写真や動画で記録したいと思って応募しました。	生産者から家に届けていただくまで、いろいろとお話を聞きました。	苗の植え方(角度、間隔)に興味がありました。	産地、生産作業が大変興味がありました。	子どもにすいかがどのように見えるのか、実際に食べてみたいと思いました。	
企画参加後、農や産者への理解促進	収穫するまでのコストのお話を伺い、驚きました。	自分たちが生協から購入している生協の産地の方への感謝の気持ちを伝えてほしいです！	自分たちが生協から購入している生協の産地の方への感謝の気持ちを伝えてほしいです！	すいか作り体験を知りました。	子どもの食育のため	すいかの栽培は初めてだったので、苗から生育状態を知りたく、その状態を写真や動画で記録したいと思って応募しました。	生産者から家に届けていただくまで、いろいろとお話を聞きました。	苗の植え方(角度、間隔)に興味がありました。	産地、生産作業が大変興味がありました。	子どもにすいかがどのように見えるのか、実際に食べてみたいと思いました。	